

一般社団法人日本粘土学会 2019 年度第 3 回常務委員会議事録

日 時：令和元年 7 月 27 日（土）13:00～15:00

会 場：（株）国際文献社 パブリッシングセンター 8 階会議室

出席者：常務委員（14 名）：山崎淳司、河野元治、中川昌治、佐藤 努、伊藤健一、蛭名武雄、小口千明、川俣 純、鈴木正哉、田村堅志、手束聡子、日比野俊行、横山信吾、鈴木憲子

監事（2 名）：月村勝宏、志々目正高

事務局：川島朝子

成立確認：常務委員総数 14 名の過半数 8 名

出席常務委員 14 名で常務委員会の開催は成立

会議に先立ち、佐藤常務委員長より年度は西暦の 2019 年、日時は和号の令和元年で統一するとの説明があった。

審議事項

1. 2019 年度事業中間報告（資料 1）

各担当委員から資料を基に報告があった。鈴木参考粘土試料委員長から関白のカオリナイトの残量が 6 本なので、近々ロットを b から c に変更するとの説明があった。学協会長会議に出席をした佐藤常務委員長より、法人化した学協会に対する監査が始まっており、かなり厳しく行われているとの報告があった。本会は問題なく運営しているが一層気を引き締めなくてはならないとの見解が示された。

以上、審議の上承認された。

2. 2019 年度会計中間報告（資料 2）

伊藤会計委員より資料を基に説明があった。前年度と比べて減収となっているが、これは会員数の減少と電子化による冊子の販売および広告収入の減少である。しかし支出も減少しているので、単年度としての収支はプラスとなることが報告された。

以上、審議の上承認された。

3. 2020 年度業務委託契約（資料 3）

佐藤常務委員長より国際文献社との業務委託契約の変更について報告があった。変更の主な点は手続きの簡素化であること、また新たに契約金額算定基準書に加わった「登記用住所提供」については、現在まではご厚意で無料であったが、会計が黒字に転じてきているので加えることが説明された。河野副会長より第 5 条について質問があり、事務局の川島さんから説明があった。

以上、審議の上承認された。

4. 2020 年度事業計画（資料 4）

佐藤常務委員長より資料を基に説明があり、承認された。

5. 2020 年度予算（資料 5）

伊藤会計委員より資料を基に説明があった。2019 年度の予算額に 2018 年度の予算額が入っ

ているので 2018 年度の決算をベースに訂正をする。志々目委員より会員増えているのに会費収入が減っているとの質問があり、会員数には未払いの会員も入っているので多く見えるが、実質は減少しているとの説明があった。

以上、審議の上承認された。

6. 2019 年度日本粘土学会学会賞等選考結果（資料 6）

川俣選考委員長より資料を基に報告があり、承認された。

7. 2019 年度日本粘土学会学術振興賞選考結果（資料 7）

佐藤常務委員長より黒田選考委員長からの資料に基づき説明があった。例年は 2 名であるが、3 名推薦したいとの申し出に対して審議のち、3 名が承認された。

8. 2019 年度総会議案及び表彰式（資料 8）

佐藤常務委員長より資料を基に説明があった。平成 30 年度を 2019 年度、委任状送付先の FAX 番号を訂正後、承認された。

9. 一般社団法人日本粘土学会粘土科学投稿規定の改定について（資料 9）

日比野編集委員長より資料を基に説明があり、承認された。

10. 粘土科学討論会（当日配布資料）

(1) 第 63 回粘土科学討論会実施計画

小口実行委員長より資料をもとに説明があった。プログラムは演者からの修正依頼などがありまだ確定ではないこと、また座長は早急に依頼するとの説明があった。見学会は現在 20 名ほどの申し込みがあり、実施の予定であることが報告された。手束委員より特別企画に関して説明があった。

(2) 第 63 回粘土科学討論会シンポジウム実施計画

田村企画委員長より資料の通りに進行している旨が報告された。

第 64 回粘土科学討論会については理事会で審議することとした。

以上、承認された。

11. 会費未納者に対する対応について（資料 10）

伊藤会計委員より資料を基に説明があった。未納が 2 年以上になると催促をしても支払い率が大幅に減となるので、2 年以上は登録抹消とし、2 年未満の会員に対しては、次回の請求の時にその旨を通知するという提案がなされた。「登録抹消」か「会員資格喪失」かの議論があり、「登録抹消」とし、再入会を希望した場合は未納分の支払いを求めるが、他のペナルティーは科さないこととした。

以上、審議の上承認された。

12. 海外からの送金について（資料 11）

伊藤会計委員より資料を基に説明があった。海外からの投稿料が手数料を引いて振り込まれ、学会として減収となるのが問題となっている。また海外からの投稿に対して確実に投稿料を回収する方法を編集委員会で検討して欲しいとの要望があった。蛭名編集委員長より、海外の投稿に関しては掲載同意書に支払いの件を明記し、振り込み後に掲載決定書を出す旨の提

案があった。また現在は事務局から費用の請求をしているので、編集委員長と情報を共有して欲しいとの要望があった。
以上、審議の上承認された。

13. その他

時間の関係で理事会において議論することとした。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、常務委員長及び監事がこれに記名押印する。

令和元年 月 日

一般社団法人日本粘土学会 常務委員会

常務委員長 佐藤 努 ⑩

監 事 月村勝宏 ⑩

監 事 志々目 正高 ⑩